



大きく育てて戻ってきてね

3月29日、山の手南小学校などの児童と父母ら約20人が、琴似発寒川で、ヤマメの稚魚約1,000匹を川に放流しました。

約3カ月間自宅で育て、体長3センチほどに育った稚魚に、児童らは「いってらっしゃい」「元気でね」などと声を掛けながら放流。稚魚が力強く泳ぐ姿を、元気に川に戻ってくることを祈りながら見送りました。



子どもたちの発表に大きな拍手

3月11日、発寒小学校で、平成19年度「発寒北安心して暮らせるまち協議会」が開催され、地域住民や同校児童など約120人が参加しました。

環境部会で「ハツキタごみ分別ゲーム」を行ったほか、発寒東小学校の児童が「フードリサイクルの取り組み」について発表、発寒小学校5年生の児童は「安全安心マップづくり」の発表を行いました。



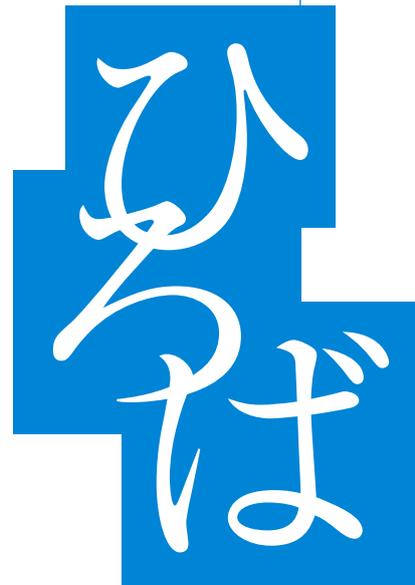
高齢者が安心して暮らせるまちに

4月1日、西区社会福祉協議会に「西区見守り活動促進センター」が設置されました。在宅高齢者や障がい者が地域から孤立することなく安心して暮らせるよう、住民同士による見守り・安否確認活動を推進します。今後、先駆的取り組みを紹介する講演会の開催や、町内会などの団体と支援機関とのネットワークづくり、緊急連絡カードの提供などを予定しています。



地域の道路を彩る花を育てます

4月12日、手稲東中学校の温室で、西野中立町内会が街路樹升に植える花の種まきを行いました。これは、札幌市の「マイタウン・マイフラワープラン」の制度を利用し、市から種子、土などの支援を受け、地域住民が学校の温室を借りて行ったものです。まいた種は早くも3日ほどで発芽し、6月上旬に街路樹升に植え替えて地域の道路を花で飾ります。



区内で行われた
行事を写真で
紹介します。



広告